

風の子保育園 事業報告

新制度が始まったことでの大きな変化は感じられないようにみえますが、着々と変化がおきていることを感じます。(別紙参照) 制度の変化と共に利用者制度になっていくことを感じさせることもありました。(保育所を選択した、風の子保育園は理事会で論議のうえ同意書を書面でするといふ行為は行わないことにしました。) 昨年、問題になった「育休退園」についても年度途中で静岡市は撤回しました。待機児童問題や新制度、情勢の変化を捉え、実状とあわせて考えながら、保育理念に根差した保育を目指していきたいと思います。

① 新制度に伴いパンフレットの作成とホームページの更新。40周年にむけての具体的な企画の提案。

パンフレットについては、園舎特徴をいれたものを作成(別紙)しました。

ホームページの更新については一部変更しましたが、不十分です。

40周年にむけては、未来検討委員会を次年度に立ち上げ、法人と連携をとりながら具体的な企画について話合っていきたいと思います。

② 園長・副園長・主任が指導的立場に入り、実践を積み重ねていく

乳児…クラス主任会とクラス会議の内容を明確にしていく。子どもの話はクラス会議で深めクラス主任は全体把握していくことが求められる。遊びの計画は年間指導に沿って担当がたて具体的な方法や環境設定をクラス主任会で話合っていきたい。

幼児…クラス会議を月1回もち、クラスの子どもの押さえと保育計画をつくっていく。保育計画と保育実践が今後の課題。月案・週案の書き方を見直していく。

給食…おいしい給食・おやつを作る(ｽｰﾊﾟｰｺﾝﾊﾞｸｼｮﾝを使いこなせる)実践者になることが課題
3人の動きと連携をとる。事務処理(栄養・発注・支払)については次年度に引き継ぐ。

③ 情勢部会として情勢の変化を積極的に捉え、保護者にわかりやすく伝えていく。

情勢部会2年目の年、「情勢だより」を年4回発行。(法人だよりでは待機児童問題等を取りあげてもらいました)情勢学習会(署名学習会)では劇で新制度のポイントを保護者に伝えました。

育休退園問題については、該当者がいたので大きく取り上げました。

(参加人数も昨年よりは多く、わかりやすかったという声が聞かれた。)保護者にわかりやすく伝えるために学習し、調べることが学びつながったが、わかりやすく伝えることのむずかしさを感じました。小さなことでも積み重ねていくことが育休退園撤回のように大きな変化につながることを感じました。

④ 研修について

幼児体操教室、わらべうた研修(乳児)の他に全国保育団体合同研究集会(東京開催)に16人が参加しました。全国の仲間声を聞き、情勢に耳を傾け、平和行進に参加してきました。(提案者1人・世話人1人)

職員会議前に各パートの事例検討を行い、子どもの見方など保育について深めていくことを行ってきました。総括ではこのなかの事例検討からピックアップして全体で話し合う学習の場としました(今年度は常葉短大の竹石先生に講師をお願いしました)

<保護者の意見・要望>

特にありませんでした。